

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	阿倍野区
学校名	金塚小学校
学校長名	細川 克寿

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・金塚小学校では、第6学年 25名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科は大阪市平均と同じであったが、算数科と理科は大阪市・全国平均をやや下回る結果であった。国語科は65ポイントで、全国よりも1.8ポイント低かった。無回答率は2.0%で、全国の3.3%と比べて1.3%高かった。

算数科は53ポイントで、大阪市・全国と比べて5ポイント低かった。無回答率は1.8%で、全国より1.8%高かった。

理科は52ポイントで、大阪市より3ポイント、全国より5.1ポイント低かった。無回答率は、0.7%で、全国より2.1%、大阪市より2.3%高かった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

正答率が比較的高かったのは、場面に応じて漢字を使うことができることや、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができたところであった。一方、課題として挙げられるのは以下の2項目であった。

- ①情報と情報との関係づけの仕方や、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う場面
- ②事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に抑え、文章全体の構成をとらえて用紙を把握すること

### 〔算数〕

正答率が比較的高かったのは、2次元の表から、条件に合った項目を選ぶことや小数の加法であった。一方、課題として挙げられるのは、以下の3項目であった。

- ①目的に応じて適切なグラフを選択し、その理由を言葉や数を用いて記述する
- ②はかりの目盛を読み取る

③割合「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す。

### 〔理科〕

正答率が比較的高かったのは、解決するための観察や、実験の方法が適切であったかを検討し表現することであった。一方、課題として挙げられるのは、以下の2項目であった。

- ①自然現象と理科で学習したことを関連付けて知識を概念的に理解すること
- ②「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現する。

質問調査より

「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？」の質問に対し、「当てはまる」と答えた児童が66.7%であった。この結果は大阪市、全国が8割以上の児童が「当てはまる」と回答しているのと比べると、15%以上低い結果である。学校においてもいじめの及ぼす影響も学習しながら、「いじめはあってはならない」と引き続き指導を継続していく。また、「読書は好きですか」の質問に対し、肯定的意見の回答は75%であった。昨年度の経年調査においてはこの質問に対し、68.4%であったことからも、子どもたちの読書に対する関心は高まりつつあるといえる。

ICTに関しては、「週に3日以上使用している」と回答した児童が62.6%であった。この結果は、大阪市の49.9%と比べて高いが、全国の結果を見ると71.7%となっており、全国から見ると、本校の結果でも10%以上低いと捉えている。

## 今後の取組(アクションプラン)

授業において、1人1台端末の活用の推進を進めてきたが、全国の活用率より10%以上低いことから、さらなる1人1台端末の活用の推進を進めていく必要がある。そこで、以下の取り組みに注力する。

- ①探究学習での活用
- ②1人1台端末における宿題や家庭学習における活用
- ③自主学習・調べ学習（個別最適な学び）における活用

全国学力・学習状況調査の結果からも、1人1台端末の活用度が高い人ほど、学力も並行して高いことが表れている。今後は更なる積極的な1人1台端末の活用を通して、主体的で対話的な深い学びを推進していく。

## 【 全体の概要 】

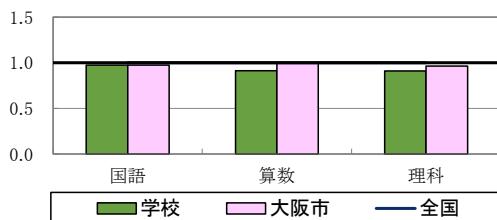
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	65	53	52
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

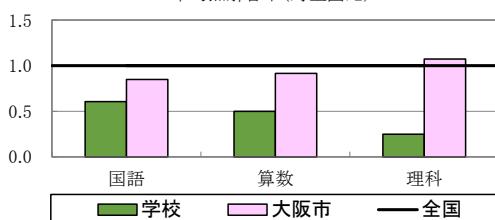
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.0	1.8	0.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



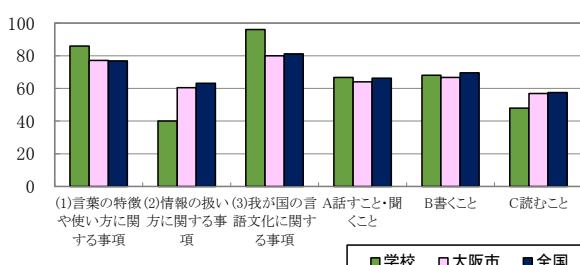
## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	86.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	40.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	96.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	66.7	64.0	66.3
B 書くこと	3	68.0	66.7	69.5
C 読むこと	4	48.0	56.9	57.5

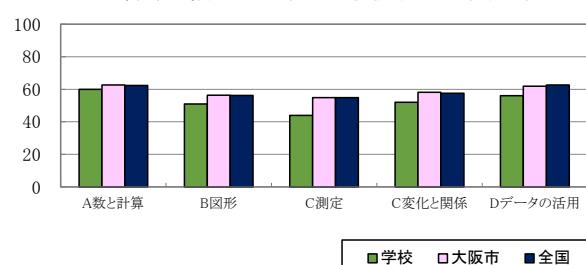
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.0	62.7	62.3
B 図形	4	51.0	56.4	56.2
C 測定	2	44.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	52.0	58.2	57.5
D データの活用	5	56.0	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



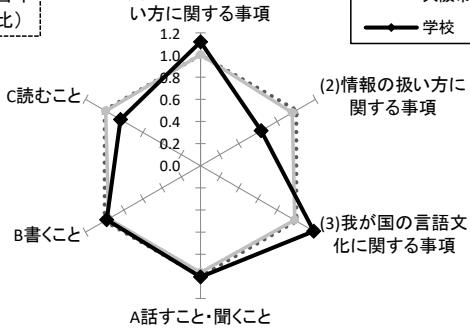
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項

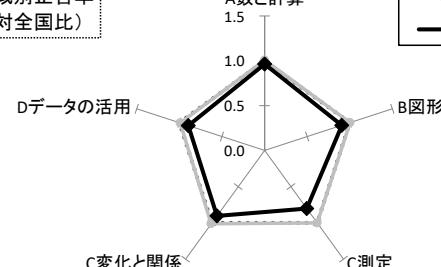
..... 全国  
大阪市  
学校



算数  
領域別正答率  
(対全国比)

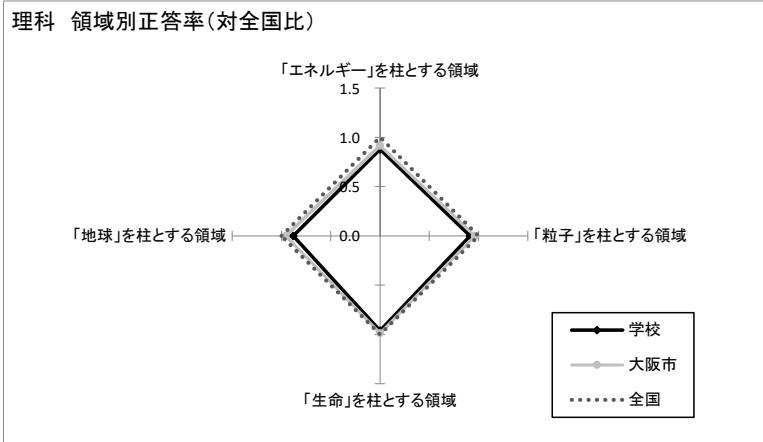
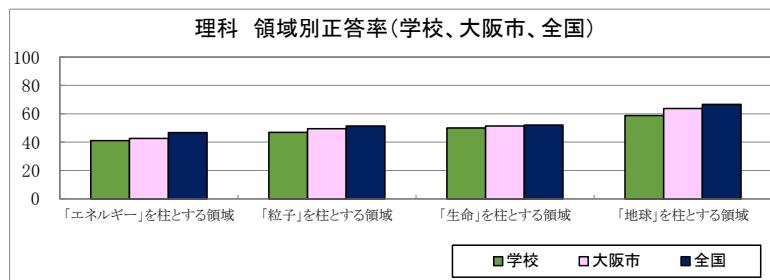
A数と計算  
B図形  
C測定  
C変化と関係  
Dデータの活用

..... 全国  
大阪市  
学校



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	41.0	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	47.0	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	50.0	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	58.7	63.8



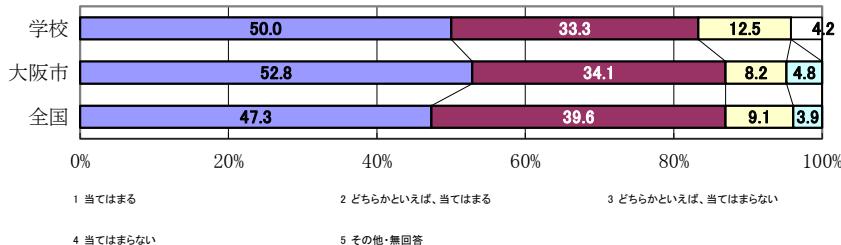
## 児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

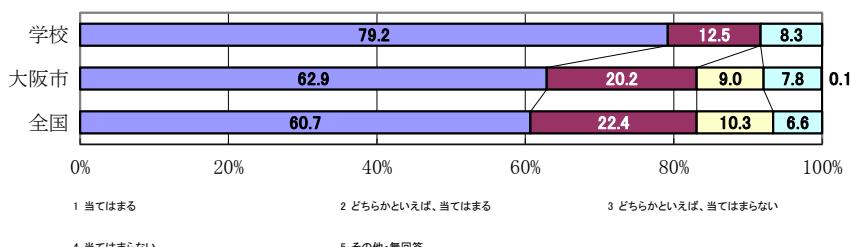
5

自分には、よいところがありますか？



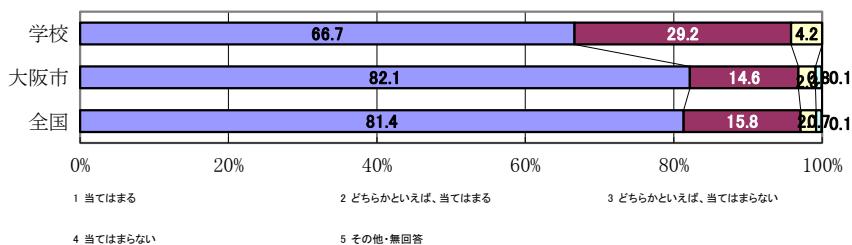
7

将来の夢や目標を持っていませんか？



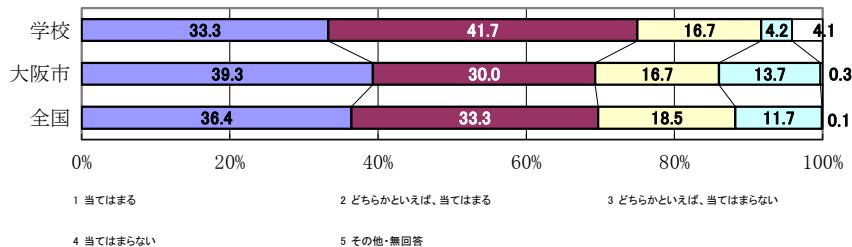
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか？



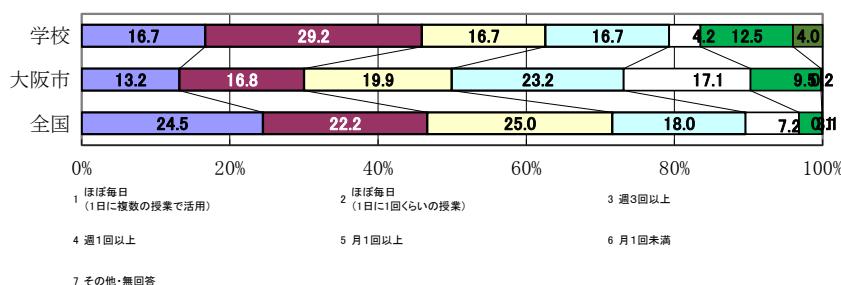
24

読書は好きですか？



28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか？



## 学校質問より

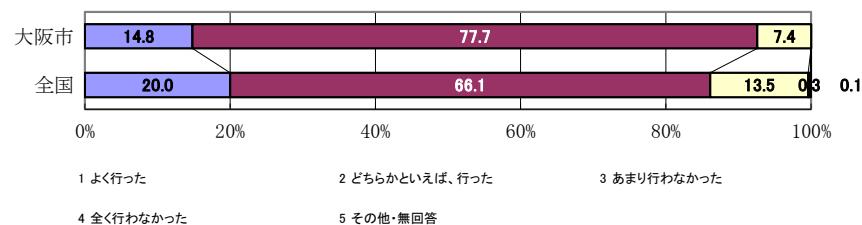
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

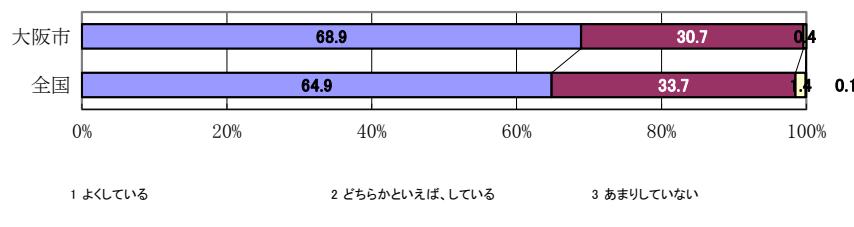
### 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

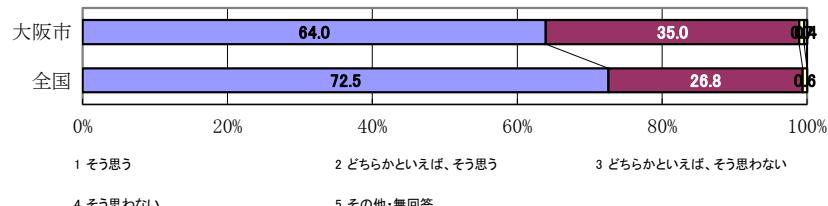
### 学校 「よくしている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

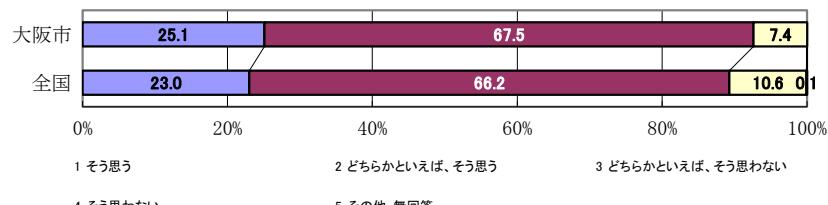
### 学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



58

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

### 学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

